

<No25 : 応用（路線）>

図 25 は、公共測量における路線測量の標準的な作業工程を示したものである。ア ～

オ に入る測量等の名称の組合せとして、最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

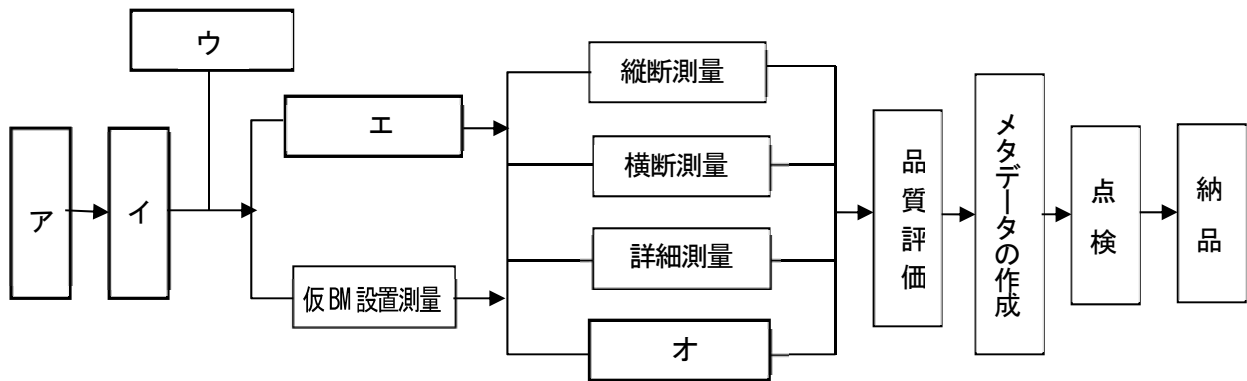


図 25

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	作業計画	線形決定	中心線測量	I P の設置	法線測量
2.	作業計画	線形決定	I P の設置	中心線測量	用地幅杭設置測量
3.	線形決定	作業計画	I P の設置	中心線測量	法線測量
4.	作業計画	線形決定	中心線測量	I P の設置	用地幅杭設置測量
5.	線形決定	作業計画	I P の設置	中心線測量	用地幅杭設置測量

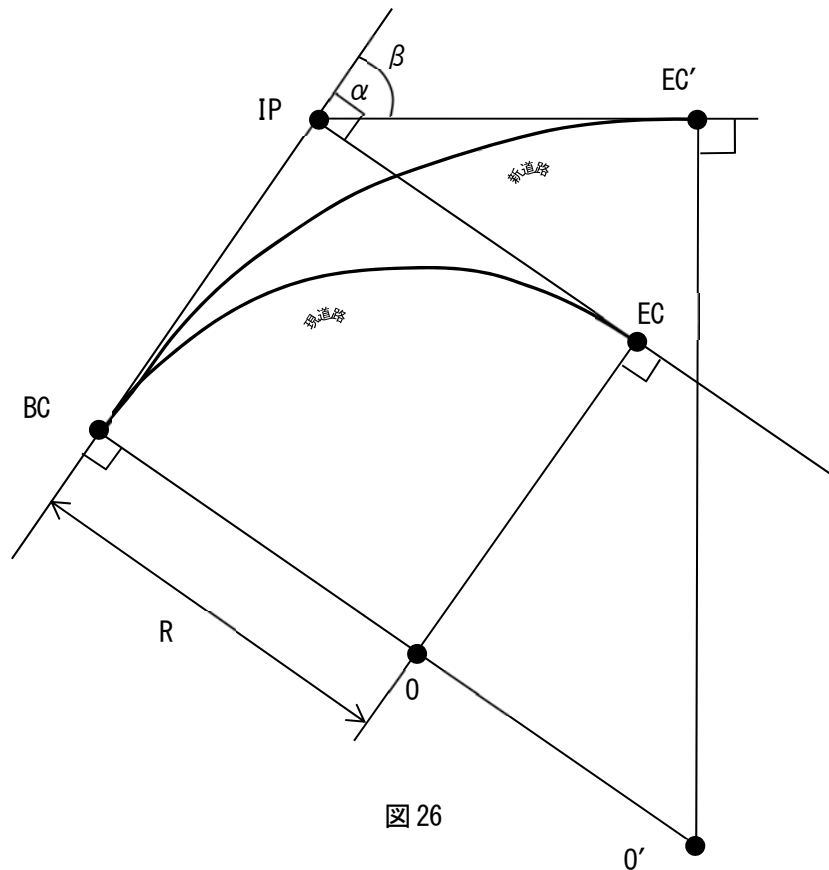
<No26 : 応用 (路線) >

図 26 に示すように、曲線半径 $R=500\text{m}$ 、交角 $\alpha=90^\circ$ で設置されている、点 O を中心とする円曲線から成る現在の道路 (以下「現道路」という。) を改良し、点 O' を中心とする円曲線から成る新しい道路 (以下「新道路」という。) を建設することとなった。

新道路の交角 $\beta=60^\circ$ としたとき、新道路 $BC \sim EC'$ の路線長は幾らか。最も近いものを次の中から選べ。

ただし、新道路の起点 BC 及び交点 IP の位置は、現道路と変わらないものとし、円周率 $\pi=3.142$ とする。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。



1. 866m
2. 879m
3. 893m
4. 907m
5. 920m

<No27 : 応用 (用地) >

図 27 は、境界点 A, B, C, D の順に直線で結んだ土地を表したものであり、土地を構成する各境界点の平面直角座標系における座標値は表 27 のとおりである。

長方形 AEFD の面積が土地 ABCD の面積の 60% であるとき、点 F の X 座標値は幾らか。最も近いものを次の中から選べ。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

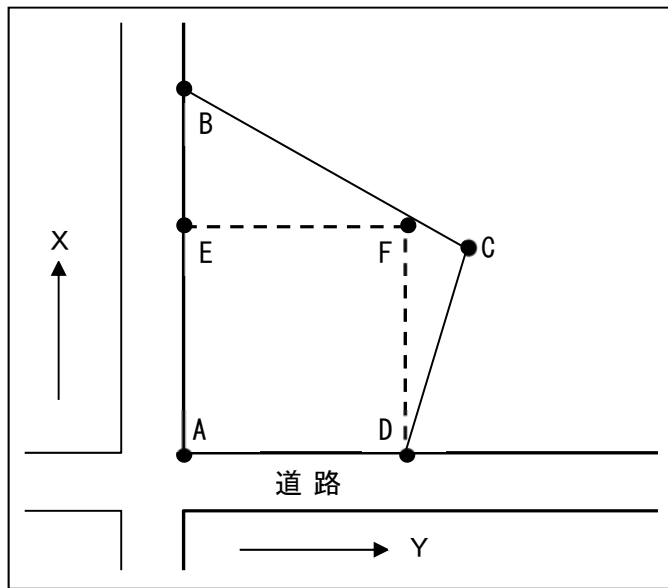


図 27

表 27

境界点	X (m)	Y (m)
A	+10.00	+10.00
B	+80.00	+10.00
C	+50.00	+60.00
D	+10.00	+45.00

1. + 50.00m
2. + 52.00m
3. + 54.00m
4. + 56.00m
5. + 58.00m

<No28 : 応用 (河川) >

次の文は、公共測量における河川測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 距離標は、兩岸の堤防の法肩又は法面に設置する。
2. 対応する兩岸の距離標を結ぶ直線は、河心線の接線と直交する。
3. 水準基標は、できるだけ水位標の近くに設置する。
4. 定期縦断測量では、水準基標を基準にして、兩岸の距離標の標高を測定する。
5. 定期横断測量では、距離標を境にして、陸部は横断測量を、水部は深淺測量を行う。